

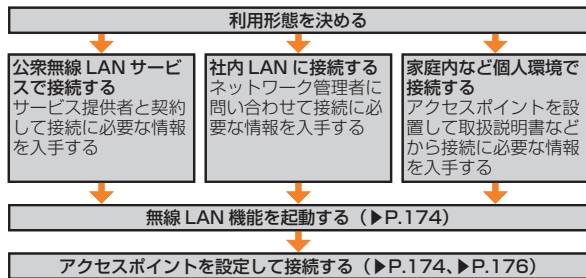
データ通信／無線LAN

無線LAN機能を利用する	174
インターネット経由で社内LANに接続する	178
Bluetooth [®] 機能を利用する	178
ドメインへの登録	181
データ通信サービス(PacketWIN)を利用する	181
USBドライバのインストール	184

無線LAN機能を利用する

ISO2の無線LAN機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線LANアクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ アクセスポイントに接続するまでの流れ



■ Bluetooth®対応機器との電波干渉について

無線LAN機能とBluetooth®機能は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、ISO2の無線LAN機能とBluetooth®機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。また、ISO2の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth®対応機器の近辺で使用すると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. ISO2とBluetooth®対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、Bluetooth®対応機器の電源を切ってください。

■ 利用できるチャンネルについて

ISO2の無線LAN機能は1~11チャンネルの周波数帯を利用できます。

■ 無線LAN機能を起動する

1 設定アイコン→「設定」→「ワイヤレスマネージャー」

- ・設定アイコン→「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」でも起動できます。

2 「Wi-Fi」をタップする

無線LAN機能を起動すると、タイトルバーにWi-Fiアイコンが表示され、自動で近くの利用可能な無線LANアクセスポイントを検出します。

■ 接続したいアクセスポイントが検出されなかった場合

「アクセスポイントを設定する」(▶P.176)を参照してください。

■ 接続したいアクセスポイントが検出された場合

タイトルバーにWi-Fiアイコンが表示され、アクセスポイント(ネットワーク)を自動で検出したことを通知する画面が表示されます。

以下の操作でアクセスポイントに接続できます。

1 ネットワークの検出を通知する画面で「OK」をタップする



- ・通知画面が表示されていない場合は、タイトルバー→Wi-Fiアイコンをタップすると表示されます。
- ・「複数のネットワークが検出されました」という画面が表示されたら、接続するネットワーク(アクセスポイント)を選択してから「OK」をタップします。

2 「インターネット設定(またはVPN経由)」または「社内ネットワーク設定」を選択し、「接続」をタップする

3 ネットワークキーを入力し、「接続」をタップする

無線LAN機能をオフにする

無線LANに接続しないときは、電池の減りを防ぐため、無線LAN機能をオフにしてください。

- 1  → 「設定」 → 「ワイヤレスマネージャー」
 - ・  → 「設定」 → 「接続」 → 「ワイヤレスマネージャー」でも起動できます。
- 2 「Wi-Fi」をタップして、「Off」を表示させる





- ◎ ISO2の電源を切ると、無線LAN機能がオフになります。
- ◎ 電池残量が少なくなると、無線LAN機能の終了を通知する画面が表示され、無線LAN機能がオフになります。「ok」をタップして通知画面を閉じて、ISO2を充電してから無線LAN機能を起動してください。

自動的に無線LAN機能をオフにする

お買い上げ時	次の時間未接続の場合、Wi-Fiをオフにする: オフにしない
--------	--------------------------------



アクセスポイントに未接続のまま一定時間が過ぎると、無線LAN機能がオフになるように設定できます。

- 1  → 「設定」 → 「接続」 → 「Wi-Fi」 → 「ワイヤレス」
- 2 「メニュー」 → 「詳細設定」
- 3 「次の時間未接続の場合、Wi-Fiをオフにする」の一覧から無線LAN機能がオフになるまでの時間を選択する
- 4  をタップする

無線LAN機能の省電力設定



お買い上げ時	サスペンドしない: オフ WOW有効: オフ Wi-Fi省電力設定: 省電力優先
--------	--

無線LAN接続中にISO2が自動でスリープモードにならないように設定できます。また、無線LAN接続中にスリープモードになっても、アクセスポイントから通知を受信すると、自動的にスリープモードから復帰するように設定できます。

- 1  → 「設定」 → 「パワー マネージメント」 → 「Wi-Fi」
- 2 必要な項目を設定し、 をタップする

Wi-Fi接続時のサスペンド設定	「サスペンドしない」にチェックを付けると、無線LAN接続中にISO2が自動でスリープモードになるのを禁止します。
WOW有効	チェックを付けると、アクセスポイントからISO2宛ての通知を受信したとき自動的にスリープモードから復帰します。 <ul style="list-style-type: none">・ ホームアクセスポイント(▶P.177)を設定した場合にのみチェックを付けられます。
Wi-Fi省電力設定	「省電力優先」/「自動優先」/「送信レート優先」から選択します。



- ◎ 「Wi-Fi」で設定した内容は、 → 「設定」 → 「バックライト/省電力」 → 「明るさ・省電力設定」の「Wi-Fi設定」に反映されます。「明るさ・省電力設定」は、 → 「設定」 → 「明るさ・省電力設定」でも表示できません。

アクセスポイントを設定する

Wi-Fi設定画面で、SSID(ネットワーク名)、セキュリティの種類などの接続情報を登録したり、ホームアクセスポイントを設定したりできます。

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内ネットワークの無線LANアクセスポイントに接続する場合は、必要な情報をネットワーク管理者にご確認ください。
- お使いの無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、ISO2のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスの確認方法は、P.168を参照してください。

1 設定メニュー→「設定」→「ネットワーク／接続」→「Wi-Fi設定」

Wi-Fi設定画面が表示されます。

- 電源ボタン→「設定」→「Wi-Fi設定」でも起動できます。



《Wi-Fi設定画面》

2 「新規作成」→「手動設定」

無線LAN機能が起動します。利用可能な無線LANアクセスポイントが自動で検出されて、一覧に表示されます。

■WPS対応のアクセスポイントに接続する場合

「WPS」→「プッシュボタン方式」／「PIN方式」をタップし、画面の指示に従ってISO2とアクセスポイントとの間の相互認証と暗号化の設定を行います。

3 一覧から接続先(ネットワーク)を選択するか、SSID(ネットワーク名)を入力し、「次へ」をタップする

- SSIDは半角英数字で入力してください。

4 セキュリティの種類と暗号化の種類を選択し、「次へ」をタップする

- 選択したセキュリティの種類と暗号化の種類の組み合わせにより、操作5を省略して、操作6に進みます。

5 ネットワークキーを入力してキーインデックスを選択し、「次へ」をタップする

6 接続名を入力し、「OK」をタップする

- 接続名に¥ / : * ? " < > | は使用できません。
設定を保存すると、自動的に登録したアクセスポイントへの接続を開始します。

memo

- IEEE802.1xネットワークアクセスコントロールを設定する場合は、電源ボタン→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」→「ワイヤレス」→「メニュー」→「新しい設定の追加」をタップします。

アクセスポイントの一覧を更新する

1 Wi-Fi設定画面で「新規作成」→「手動設定」→「一覧更新」

アクセスポイントの設定を変更する

1 Wi-Fi設定画面の一覧から変更したいアクセスポイントを選択し、「変更」をタップする

2 「アクセスポイントを設定する」の操作4以降を行う

■ アクセスポイントの設定を削除する

- 1 Wi-Fi設定画面の一覧から削除したいアクセスポイントを選択し、「削除」→「はい」

・ この操作を行うには無線LAN機能が起動している必要があります。

■ アクセスポイントの優先順位を変更する

- 1 Wi-Fi設定画面の一覧から優先順位を変更したいアクセスポイントを選択し、 / をタップする

■ ホームアクセスポイントを設定する

Wake On Wireless(WOW) (▶P.175)の対象アクセスポイント(ホームアクセスポイント)を設定します。

- 1 Wi-Fi設定画面の一覧からホームに設定したいアクセスポイントを選択し、「Home AP」をタップする

ホームアクセスポイントにが表示されます。

・ この操作を行うには無線LAN機能が起動している必要があります。

■ アクセスポイントを指定して接続する

- 1 Wi-Fi設定画面(▶P.176)の一覧から接続したいアクセスポイントを選択し、「接続」をタップする

接続中のアクセスポイントにが表示されます。

■ 接続を切断する

- 1 Wi-Fi設定画面(▶P.176)の一覧から接続中のアクセスポイントを選択し、「切断」をタップする

■ ネットワークアダプターの情報を設定する

無線LAN接続に使用するネットワークアダプターの情報(IPアドレスやDNSサーバアドレスなど)を設定します。

- 1 → 「設定」→ 「ワイヤレスマネージャー」→ 「メニュー」→ 「Wi-Fi設定」→ 「ネットワーク アダプター」
 - ・ → 「設定」→ 「接続」→ 「Wi-Fi」→ 「ネットワーク アダプター」でも設定できます。
- 2 ネットワークカードの接続先として「インターネット設定」または「社内ネットワーク設定」を選択する
- 3 「AR6000 WLAN Adapter SD」をタップする
- 4 「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」または「指定した IP アドレスを使用する」を選択する
 - ・ 「指定した IP アドレスを使用する」を選択した場合、ネットワーク管理者が指定したIPアドレスなどを入力します。
 - ・ 必要に応じて「ネーム サーバー」をタップして、DNSサーバのアドレスなどを入力します。
- 5 をタップする



memo

◎操作 4 で「指定した IP アドレスを使用する」を選択してIPアドレスを入力すると、無線LAN機能をオフにしても、パケット通信によるインターネット接続ができなくなることがあります。その場合、操作 4 で「サーバー割り当ての IP アドレスを使用する」を選択すると、パケット通信で接続できるようになります。

インターネット経由で社内LANに接続する

VPN(Virtual Private Network)は、インターネット経由で自宅のパソコンや社内ネットワーク(イントラネット)へ安全にアクセスするための接続方法です。公衆網であるインターネット上に仮想的な専用回線を用意し、暗号化したデータを送受信することで、第三者によるデータの盗聴や改ざんなどを防ぎます。


- ・マイクロソフト社のISAサーバ以外とは接続できません。
- ・ホスト名またはIPアドレス、VPNの種類、ユーザー名、パスワードなど、接続に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 →「設定」→「一般設定」→「接続」→「設定」

- ・ →「設定」→「接続」→「接続」→「設定」でも設定できます。

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいVPNサーバー接続の追加」をタップする

3 必要な情報を入力する

- ・名前(一覧に表示する接続名)とホスト名/IPを入力し、VPNの種類を選択したら「次へ」をタップして、以降の画面で必要な情報を入力してください。
- ・IPアドレスやDNSサーバアドレスを手動で入力する場合は、「詳細設定」をタップして入力し、 をタップしてください。

4 「完了」をタップする

Bluetooth[®]機能を利用する

ISO2のBluetooth[®]機能を利用して、近くにあるBluetooth[®]対応機器と無線でデータをやりとりできます。Bluetooth[®]対応イヤホンマイクやワイヤレスヘッドホンと接続すると、ハンズフリーで通話したりワイヤレスで音楽を聴いたりできます。

- ・ActiveSyncを利用したパソコンとの同期も行えます。詳しくは、「Bluetooth[®]通信で同期する」(▶P.144)を参照してください。
- ・Bluetooth[®]対応バージョンやプロファイルについては、P.230を参照してください。
- ・設定や操作方法については、接続するBluetooth[®]対応機器の取扱説明書もご参照ください。
- ・ISO2とすべてのBluetooth[®]対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth[®]機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. ISO2とほかのBluetooth[®]対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなる場合があります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN機能との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN機能は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、ISO2のBluetooth®機能と無線LAN機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、ISO2のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. ISO2と無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth®機能のモードについて

Bluetooth®機能には以下の3種類のモードがあります。

モード	説明
On(オン)	登録されているBluetooth®対応機器に接続できます。また、本ISO2から通信範囲内にあるBluetooth®対応機器を検出できます。
検出可能	通信範囲内にあるBluetooth®対応機器から本ISO2を検出可能な状態にします。
Off(オフ)	Bluetooth®機能をオフにします。


■ Bluetooth®パスコードについて

Bluetooth®パスコードは、接続するBluetooth®対応機器同士がはじめて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコードを入力する必要があります。

- ・相手機器によってはパスコードの入力が省略される場合があります。

Bluetooth®機能をオンにする

1 →「設定」→「ネットワーク／接続」→「Bluetooth」→「モード」

- ・ →「設定」→「Bluetooth」→「モード」でも設定できます。

2 「Bluetooth をオンにする」にチェックを付ける

- ・チェックを外すとオフになります。

■ ISO2を検出可能モードにする場合

「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けます。

3 をタップする



memo


- Bluetooth®通信で接続しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をオフにしてください。
- Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth®機能はISO2の電源を切った状態では使用できません。
- ワイヤレスマネージャーでオン(検出可能)／オフを切り替えることもできます。

■ パートナーシップを確立する

ISO2と相手機器との間で安全にデータのやりとりが行えるように、パートナーシップを確立します。

- あらかじめISO2のBluetooth®機能をオンにしてください（▶P.179）。
- 相手機器をISO2から10m以内に設置してください。

1 →「設定」→「ネットワーク／接続」→「Bluetooth」→「デバイス」

-  →「設定」→「Bluetooth」→「デバイス」でも設定できます。

2 「新しいデバイスの追加」をタップする

検索に応答した機器が表示されます。

3 一覧から接続する相手機器を選択し、「次へ」をタップする

4 パスコードを入力し、「次へ」をタップする

- パスコードは半角英数字で入力してください。

5 相手機器側でパートナーシップを受け入れる操作を行う

- ISO2で入力したのと同じのパスコードを入力してください。

6 「デバイスが追加されました」画面が表示されたら、「完了」をタップする

7 一覧から相手機器をタップする

「パートナーシップの設定」画面が表示されます。

8 使用したいサービスにチェックを付け、「保存」→ をタップする

■ 相手機器からのパートナーシップ要求を受け入れる

- あらかじめISO2のBluetooth®機能を検出可能モードにしてください。


1 接続を要求する通知画面が表示されたら、「はい」をタップする

2 パスコードを入力し、「次へ」をタップする

3 「デバイスが追加されました」画面が表示されたら、「完了」をタップする

■ パートナーシップを削除する

1 →「設定」→「ネットワーク／接続」→「Bluetooth」→「デバイス」

-  →「設定」→「Bluetooth」→「デバイス」でも設定できます。

2 削除したい相手機器を1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

3 「削除」→「はい」→


■ ビームでデータを送受信する

- データをやりとりする相手機器をISO2から10m以内に設置してください。

■ ビーム受信を設定する

お買い上げ時 すべての着信ビームを受信する:オン

Bluetooth®通信で送られてきたデータをIS02で受信するように設定します。

1  →「設定」→「接続」→「ビーム」


2 「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付ける

3  をタップする

■ ビームでデータを受信する

・あらかじめIS02のBluetooth®機能を検出可能モードにしてください。

1 データの受信を通知する画面で「はい」をタップする


・通知画面が表示されていない場合は、タイトルバー→をタップすると表示されます。

■ ビームでデータを送信する

連絡先、予定表、仕事などのデータや、静止画、動画などのファイル、ほかのBluetooth®対応のパソコンなどに送信できます。

・あらかじめ受信側の相手機器を検出可能モードにし、データの受信を開始してください。詳しくは相手機器の取扱説明書をご参照ください。

例:連絡先をビームで送信する

1  →「連絡先」

2 送信したい連絡先を選択し、 をタップする

3 「連絡先の送信」→「ビーム」

4 デバイスの一覧から受信側の相手機器をタップする

ドメインへの登録

IS02を会社のドメインに登録して、社内ネットワーク管理者がIS02をSCMDM(Microsoft System Center Mobile Device Manager)管理できるように設定できます。

・登録に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1  →「設定」→「一般設定」→「ドメインへの登録」

・ →「設定」→「接続」→「ドメインへの登録」でも設定できます。

2 「登録」をタップする

3 画面の指示に従って登録する

データ通信サービス(PacketWIN)を利用する

PacketWINは、パケット通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスです。最大通信速度受信3.1Mbps/送信1.8Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。

※ご使用の通信環境により、最大通信速度は受信2.4Mbpsまたは144kbps/送信144kbpsまたは64kbpsとなる場合があります。

「au.NET(エーユーネット)」や、PacketWIN対応プロバイダ(別途、プロバイダとの契約が必要)のご利用により、IS02を手軽にインターネットに接続したり(▶P.182)、パソコンとIS02を接続してパソコンを手軽にインターネットに接続して(▶P.183)、パケット通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auのホームページをご参照ください。また、対応プロバイダのサービス内容につきましては、各社にご確認ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- お買い上げ時は、IS NET/au.netが接続先として設定されています。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となりますのでご注意ください。
- フォーム型のコンピューターウイルスなどの影響により、常時au電話とパソコンを接続した環境にてデータ通信をご利用の場合、お客様が意図しない通信が継続的に発生するおそれがあります。ご利用にあたりましては、ウイルス予防・対処策を講じていただくと共に、ご利用方法につきましてもご配慮いただきますようお願い申し上げます。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。
- パソコンなどからの接続の方法、パケット通信の方法は、パソコンなどでご利用になる通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://cs.kddi.com/> (auお客さまサポート)

※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■ PacketWIN/au.NETのご利用料金について

au.NETの月額使用料	945円(税込) ※ご利用月のみ発生
通信料	有料

最新の各パケット、およびau.NETの月額使用料については、最新のau総合カタログ/auホームページをご確認ください。

IS02でPacketWINを利用するための準備をする

IS02には、あらかじめau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするプログラムを起動すると自動的にau.NETへ接続されます。ネットワーク接続設定を変更して、有害サイトをブロックするフィルタリングサービスを有効にしたり、PacketWIN対応プロバイダに接続することもできます。(ただし日本国内での利用に限ります。)

■ 有害サイトをブロックする場合(フィルタリングサービス)

IS02をインターネット接続する際に有害サイトをブロックするには、以下の設定を行います。

1 → 「設定」 → 「一般設定」 → 「接続」 → 「詳細設定」

-  → 「設定」 → 「接続」 → 「接続」 → 「詳細設定」でも設定できます。

2 「ネットワークの選択」をタップする

3 「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」から「IS NET/au.net フィルタON」をタップする

4 →



- 標準の設定に戻すには、操作 3 で「IS NET/au.net」をタップしてください。

■ PacketWIN対応プロバイダを利用する場合

IS02をインターネット接続する際にPacketWIN対応プロバイダを利用するには、以下の設定を行います。

1 →「設定」→「一般設定」→「接続」→「詳細設定」

- ・ →「設定」→「接続」→「接続」→「詳細設定」でも設定できます。

2 「ネットワークの選択」をタップする

3 「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」の「追加」をタップする

4 設定名を入力→「モデム」

5 「新規」をタップする

6 接続名を入力して「次へ」をタップする

7 「*99* *24#」を入力して「次へ」をタップする

8 接続先のユーザー名(ID)、パスワードなどを入力して「完了」をタップする

- ・「詳細設定」→「サーバー」をタップすると、DNSサーバーの設定を行います。

9 作成した接続を選択して → →



memo

- ◎ 標準の設定に戻すには、「有害サイトをブロックする場合(フィルタリングサービス)」(▶P.182)の操作③で「IS NET/au.net」をタップしてください。

パソコンでPacketWINを利用するための準備をする

PacketWINをご利用になる前に、USBドライバの設定とパソコン側でのダイヤルアップネットワーク(TCP/IP)の設定が必要です。

USBドライバについては、「USBドライバのインストール」(▶P.184)をご参照ください。

- ・あらかじめUSB接続の設定をダイヤルアップ接続モードにしてください(▶P.135)。

1 IS02の電源を入れて、付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用して、IS02をパソコンに接続する

- ・「同期を設定する」(▶P.142)の操作①の説明とイラストを参照してください。

2 接続機器のモデムを設定

3 ダイヤルアップネットワーク(TCP/IP)を設定

■ au.NETご利用の場合の設定

項目	設定(値)
ユーザー名*1	「au@au-win.ne.jp」
パスワード*1	「au」
電話番号*2	*99* *24#
DNSアドレス	プライマリDNS:210.196.3.183 セカンダリDNS:210.141.112.163

*1 ユーザー名とパスワードは、全ユーザー共通です。半角小文字で入力してください。

*2 「ダイヤルアップネットワーク(TCP/IP)」の「電話番号」項目欄には「*99* *24#」と設定してください。「*99* *24#」以外の英数字を設定した場合は接続できませんのでご注意ください。

memo

◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合は、ダイヤルアップ接続モードに変更してもダイヤルアップ接続は利用できません。

USBドライバのインストール

USBドライバの動作環境

OS	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows XP(日本語／英語) • Microsoft Windows Vista(日本語／英語。32ビット版／64ビット版) • Microsoft Windows 7(日本語／英語。32ビット版／64ビット版)
パソコン	USB1.1以上に準拠しているUSB搭載のパソコンで、上記OSのいずれかがプリインストールされているDOS/V互換機(OSアップグレード環境では、ご使用いただけない場合があります)。

memo

- ◎ IS02以外の携帯電話機では使用できません。
- ◎ 上記の対応OSおよびパソコンであっても、その全てについて動作保証するものではありません。
- ◎ IS02とパソコンを接続しての通信中にはコネクタをはずさないでください。通信中のデータが失われることがあります。
- ◎ 他のUSB機器と同時にご利用の場合、通信速度が低下することがあります。

Windows Vista／Windows 7搭載のパソコンでUSBドライバを使用する際のご注意

USBドライバのインストールなどを行う場合、「ユーザーアカウント制御」についての画面が表示されることがありますが、「許可」をクリックしてください。

USBドライバをインストールする

USBドライバをパソコンにインストールする手順について説明します。

memo

- ◎ ドライバのインストールは、管理者権限でコンピュータにログオンしている必要があります。
- ◎ Windowsで起動中のアプリケーションを終了してください。
- ◎ インストールに失敗した旨のメッセージが表示された場合は、USBドライバをアンインストールしてから、再度インストールを行ってください。
- ◎ お使いの環境によってはセキュリティの警告画面が表示されます。「実行」または「開く」ボタンをクリックしてください。

1 IS02の電源を入れて、付属の東芝microUSB-USB変換ケーブル01を使用して、IS02をパソコンに接続する

- Active Syncモードで接続してください。
- 「同期を設定する」(▶P.142)の操作 1以降の説明とイラストを参照してください。

2 インストーラをIS02からパソコンへコピーする

- ActiveSyncで接続後、パソコンからモバイルデバイスの「USB_Driver」フォルダを開き、お使いのOSおよびビット数のフォルダ内の「setup.exe」をパソコンの任意の場所にコピーしてください。モバイルデバイスの「USB_Driver」フォルダを表示する操作はOSによって異なります。
Windows XPの場合:「スタート」→「マイコンピュータ」→「モバイルデバイス」→「Tools」→「USB_Driver」
Windows Vista／Windows 7の場合:「スタート」→「コンピュータ」*→「TOSHIBA IS02」→「¥」→「My Documents」→「Tools」→「USB_Driver」
※ Windows 7の場合は「コンピュータ」と表示されます。

3 パソコンで画面の指示に従ってインストールを行う

- コピーしたsetup.exeを実行してインストールを行ってください。
- 使用許諾契約書が表示されたときは、よくお読みいただき、「使用許諾契約の条項に同意します」をチェックし「次へ」をクリックしてください。

4 ISO2の設定を変更して再度接続する

- ISO2のパソコンとの接続を解除し、USB接続の設定をダイヤルアップ接続モードに変更後、再度接続してください。ISO2が自動的に認識されます。

5 ドライバが正しくインストールされていることを、デバイスマネージャで確認する

デバイスマネージャは、Windows XPの場合は「コントロールパネル」内の「システム」をダブルクリック→「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリック、Windows Vista/Windows 7の場合は「コントロールパネル」内の「システム」をダブルクリック→「デバイスマネージャ」をクリックすると表示できます。

■ダイヤルアップ接続モードでのインストール確認

「モデム」の下の階層に「au ISO2」が表示されていることを確認してください。

バージョン確認やアンインストール

Windows XPの場合は「コントロールパネル」内の「プログラムの追加と削除」を、Windows Vista/Windows 7の場合は「コントロールパネル」内の「プログラムと機能」をクリックまたはダブルクリックして、「ISO2 USB Driver」のバージョン確認やアンインストールを行ってください。また、アンインストールした際はパソコンを再起動してください。

モデムコマンド一覧

■Sレジスタ

通信端末として使用するための設定です

レジスタ	内容	単位	初期値	設定範囲
S3	CRキャラクタコードの設定	—	13	13のみ
S4	LFキャラクタコードの設定	—	10	10のみ
S5	BSキャラクタコードの設定	—	8	8のみ

■リザルトコード

回線の動作状態をパソコンに通知します。

数字	文字	説明
0	OK	コマンドの正常実行
1	CONNECT	オンラインモードに移行
3	NO CARRIER	オフラインモードに移行
4	ERROR	認識できないコマンド
29	DELAYED	発信規制中

■ ATコマンド

「AT」に続いて「コマンド」と「パラメータ」を入力し、最後にエンターキーを押すとコマンドが実行されます。パラメータ値を省略した場合は「OK」が返ります。

なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

コマンド	機能	説明
A/	コマンド再実行	直前のATコマンドを再度実行
ATD	ダイヤル発信	ダイヤル発信する
ATEn	コマンドエコー	コマンドキャラクターのエコーバック n=0: コマンドエコーしない n=1: コマンドエコーする(初期値)
ATQn	リザルトコード設定	リザルトコードをパソコンへ返す n=0: リザルトコードを返す n=1: リザルトコードを返さない(初期値)
ATVn	リザルトコード選択	リザルトコードの種類を選択 n=0: 数字形式 n=1: 文字形式(初期値)
ATZ	ソフトウェアリセット	工場出荷状態への初期化
AT&Cn	DCD制御 ※ 初期値でお使いください	DCD(受信キャリア検出)の制御 n=0: 常にDCDをON n=1: パケット通信がアクティブのときのみON(初期値)
AT&Dn	DTR制御 ※ 初期値でお使いください	DTR(データ端末レディ)の制御 n=0: 常にDTRを無視 n=1: オンライン状態でDTR信号がONになるとオンラインコマンドへ移行 n=2: オンライン状態でDTR信号がONになると回線を切断しオフラインコマンドへ移行(初期値)
AT&F	工場出荷状態への初期化	各種ATコマンドのパラメータを工場出荷設定値に戻す

よくあるご質問

質問	回答
このUSBドライバをISO2以外の携帯電話機で使用できますか？	いいえ。本ドライバはISO2専用のUSBドライバです。他の携帯電話機では使用できません。
USBドライバはインターネットでダウンロードできますか？	はい。下記のホームページからダウンロードできます。 auのホームページ: http://www.au.kddi.com/usbwin 東芝のホームページ: http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/

その他、USBドライバについては、下記の窓口へご連絡ください。

株式会社東芝 モバイルコミュニケーション社

お客様相談窓口

URL: <https://www.webcom.toshiba.co.jp/jp/inq/>

電話番号: 0120-924-137

※ 営業時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土曜、日曜、祝日、当社特定休日を除く)

※ 上記窓口へのご相談は「USBドライバ」に関するお問い合わせに限らせていただきます。

※ お問い合わせの場合は、以下の内容をあらかじめご確認ください。

- ・ au電話の機種名
- ・ お使いのパソコンのOS
- ・ お問い合わせ内容